

## 2024年 6月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 6月 2日 (日) 集会 (アクト研修交流センター37セミナー室)  
司会：溝口 春江 感話：大屋 智代  
聖書講話：ミカ書 1章8～16節  
「預言者ミカの嘆き」 水戸 潔
- 6月 9日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会：大手 美千代  
聖書講話：創世記 26章15～25節  
「井戸を掘る」 小田 弘平
- 6月23日 (日) 集会 (クリエート浜松22号室)  
司会：笹井 あかね 感話：武井 めぐみ  
聖書講義：ヨハネによる福音書15章1～5節  
「人の生涯とキリスト教」 永井 徹
- 6月30日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会：岩田 堯 感話：鈴木 やす子  
聖書講義：ヨハネの黙示録 11章  
「2人の証人 主の力に守られて」 武井 陽一

### この世の国は我らの主とメシアのものとなった 黙示11・15 溝口 正

現実に神は、天から地上へ救主キリストを派遣し、十字架・復活をとおして罪に苦しむ者をはじめ貧しき者、悲しむ者、主を待ち望む者らを次々と救いつつあるが、反面では、この世にはキリストの福音に敵対するサタンの勢力が今なお、神の存在を疑わせるほどに大きな力を振るっている。それ故、キリストを信ずる者たちには、信仰の戦いが押し迫り苦難もまた避けることができないのである。本書の著者ヨハネも、信仰ゆえにパトモス島に流刑されており、当時のキリスト者は押し並べて迫害の渦中であって、ある者は投獄され、ある者は殉教の死を遂げるなど、苦難に耐えつつ主の来臨を待ち望んでいたのである。ヨハネの黙示録は、そのキリスト者たちに、天においては、神の計画がすでに成就し、全世界はキリスト者の永遠なる統治の下に服していることを、幻によって告げたのである。即ち、天上においてはサタンは滅ぼされ、キリストの勝利が確定し、その支配は確立したと告げたのである。地上の迫害に苦しむキリスト者たちにとって、この天来の告知は計り知れない慰めと勇気と忍耐と希望とを与えたに違いない。

とすれば、この世に生きるキリスト者の戦いは、主イエスが勝利した戦いを地上において戦うのである。いかに形勢不利に見える戦いでも、神のご計画の中ですでに勝利はおさめられているのである。これが地上における信仰の戦いの本質である。それ故、いかに困難をきわめ行き先不透明な状況下においても、キリスト者は余裕ある戦いの歩を進めることができるであろう。キリスト者の信仰の戦いは、敗けても勝っているのである。

第7のラッパが吹かれる 『復活』第371号 1997年8月